

写された『日光』 — 古き佳き時代 —

第9回 中禅寺湖畔・二荒山神社付近 (写真:日光市立図書館所蔵)



湖畔の六軒茶屋付近から奥日光二荒山神社と大崎方面を眺めた一枚です。波も無く、静まりかえった湖面に建物や山並み木立の影が見事に写っています。

湖畔の様子をよく見ると、鳥居の先の建物が真新しいことに気付きます。また、大崎手前の岸边には、夏に扇の的弓道大会が行われる浜辺(土石流の痕跡)がありません。これらのことから、この写真の撮られた時期は明治35年9月の大暴風雨以前だと推察できます。

明治35年の大暴風雨による災害は、群馬県境の奥日光から今市町(当時)境まで、日光地域を縦断する大きな爪痕を残しました。中禅寺では、男体山の中腹から巨大な土石流(観音轟)が発生し、二荒山神社社殿や境内の妙見堂、観音堂、湖畔の鳥居の西側に完成して間もない尋常高等小学校中宮祠分教場を倒壊しました。湖に押し寄せた土石流は高波となって湖畔の旅館や行者小屋を襲いました。

保健婦 だより

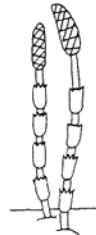


「花粉症の季節です!」

テレビや新聞で花粉情報を耳や目にする毎が続いていますね。花粉症にお悩みの方も多いのではないのでしょうか? 花粉症とは、アレルギー性鼻炎のひとつで花粉(抗原)が体内に入ることによって、生体が反応し、抗体を作ります。この抗体ができた体に再び抗原が入ると、「抗原抗体反応」と呼ばれる反応が起こり、く

しゃみや鼻みず、鼻づまりなどの症状がでるのです。気象条件と花粉の量は密接な関係にあるようです。正午から午後三時までの時間帯に、一番多く花粉が飛散すると言われています。また、気温が高くて湿度が低い、からつとよく晴れた日(特に雨の日の翌日)には飛散量も増えるようです。そのうえ、風が強い時には要注意ですね。

外出時には、目と鼻をガードすることが第一。花粉症専用のメガネやマスクを使用することをおすすめします。また、帽子も、髪の毛に花粉がつくのを防ぎます。洗濯物や布団など、外に干す場合は、取り込むときにいいねいに花粉をはたきおとしましょう。「花粉症かな?」と思ったら、一人でつらい症状をかかえずこまず、医師に相談することをすすめします。



参加者募集! 日光市青少年海外体験研修

将来の日光市を担う青少年を海外に派遣し、異文化にふれる体験学習を行うとともに現地青少年との交流を深め、より豊かな国際感覚を身につけるため「日光市青少年海外体験研修」事業の参加者を次より募集します。

- ◆主催 日光市・日光市教育委員会
- ◆派遣先 ニュージーランド国オークランド市
- ◆期日 平成八年七月二十六日(金)八月三日(土) 九日間

研修内容
現地でのホームステイをしながら、(1)英語研修(スタディーセンター)を利用し、口語英語に重点を置いた授業を、四回・毎三時間実施
(2)現地見学研修(市役所、警察署などの公共施設などの見学) (3)文化交流(ホストファミリーとウェルカムパーティー、さよならパーティー、ならびに現地生徒との交流会) (4)帰国後の文集作成などを実施します。

参加資格 (1)日光市に居住し、県内の学校に通う中学二〜三年生と高校生(過去二回の「日光市青少年海外研修」に参加した生徒を除く) (2)日光市の代表者としての誇りを持ち、日光市に貢献できる生徒 (3)積極的に外国文化を学ぼうとする意欲と、積極的に外国人と接する意欲がある生徒 (4)英語で必要最小限の意思表示ができる生徒 (5)一人で海外生活(ホームステイ)ができる生徒 (6)研修終了後も積極的に国際交流に協力できる生徒 (7)事前、事後研修に必ず参加できる生徒

- ◆参加経費 ●個人負担十万円(総額三十五万円の内二十五万円は日光市で助成します)
- ◆参加申込 ●その他の個人的経費、渡航手続き料金など
- ◆参加申込 (1)参加申込書一通を日光市教育委員会社会教育課に提出する。(申込書は中央公民館、支所・出張所にあります)
- ◆選考方法 (2)申込期間は平成八年四月十日(水)〜三十日(火)書類審査、面接のうえ、抽選により決定します。
- ◆出発までの主な日程 (1)参加者決定 五月初旬 (2)事前研修 五月中旬〜七月中旬 約四回予定(ホームステイについて、英会話練習、現地の歴史、地理、文化、また、旅程についての諸注意事項) 会場は中央公民館

※平成八年四月十五日(月)午後七時から中央公民館で事業内容の説明会を開催します。詳しくは、日光市教育委員会社会教育課(☎五三三三七〇〇)へ。